

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.2

令和8年8月31日

名向小学校の取組紹介②

釣り体験・タッチプール

令和8年6月には、1年生と6年生が釣りを通じた環境学習を行いました。講師からは、県内の海同様、諸磯の海でも深刻な磯焼けが起こっていること、その磯焼けの原因がアイゴやウニなどが海藻を食べつくしてしまっていることなど海洋環境の現状について説明がありました。また、そのために漁師さんや地域で連携し、保全活動をしていることを学びました。



その後は、ライフジャケットの着用やタッチプール、キャスティング体験を通して安全な海の楽しみ方を学びました。アオリイカの卵の孵化や泳ぐ様子を観察し、産卵床づくりの大切さを確認することができました。

子どもたちが大人になってもこの海を誇りに思い、持続可能な地域づくりに関わるようになってほしいと思います。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、学校教育課まで 046-882-1111（内線404）

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.1

令和8年8月31日

名向小学校の取組紹介①

アオリイカの産卵床づくり

令和8年5月、名向小学校6年生は、日本釣振興会みうら漁協、ヤマリアなどの関係団体の協力のもと、里海里山プロジェクト「アオリイカの産卵床づくり」に参加しました。子どもたちは講師から、アオリイカの生態や相模湾の海の環境、産卵床づくりの大切さについて学びました。



その後、校庭の間伐材を活用した産卵床づくりに挑戦しました。漁師さんやスタッフの方に教わりながら、のこぎりで木を切ったり、結束バンドで木を束ねたりと友達と協力しながら作業を進めました。また、一人ひとりが「元気なイカの赤ちゃんがたくさん生まれますように」などの願いを短冊に書いて、漁師さんに託しました。そして、漁師さんやダイバーの皆さんによって、産卵床を海へ設置しました。

この活動を通して、海の環境や水産資源を守ることの大切さを学ぶとともに、ふるさとの三浦の海への愛着を深める貴重な機会となりました。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、学校教育課まで 046-882-1111（内線404）